

令和6年度 中日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年12月13日（金） 14：50～16：15
2. 場所：中日本高速道路株式会社 5階 501、502会議室
3. 出席委員：加藤委員長、柄谷委員、原田委員、増田委員、柚原委員
4. 議事要旨：

○新東名高速道路（海老名南JCT～御殿場JCT）再評価 対応方針（原案）について審議し、対応方針（原案）のとおり了承された。

○主な意見

- ・ 事業費の増額は、トンネル工事の進捗で新たに判明した対策費用および労務費高騰や現場の安全確保などの社会的要請に応じた費用であり妥当。
- ・ 渋滞回数が減れば交通の効率化だけでなくCO2削減にもつながり、環境への影響も緩和されることから、今後の評価項目としても検討されることが望ましい。
- ・ 新東名と東名のダブルネットワークは「くしの歯作戦」の軸となり、西から東からつなぐ広域支援ルートとして災害に対する強靱性を高める重要な道路である。
- ・ 定量的に計算可能な便益以外にも多くの効果が見込まれる事業であり、コスト縮減への取り組み以上に、道路の効果や価値を高めるための取り組みも期待される。
- ・ 渋滞の解消や物流の効率化など、地域や日本全体にもたらす社会便益なども含め事業の必要性に疑いはないことから、対応方針（原案）のとおり事業継続は妥当。

以 上